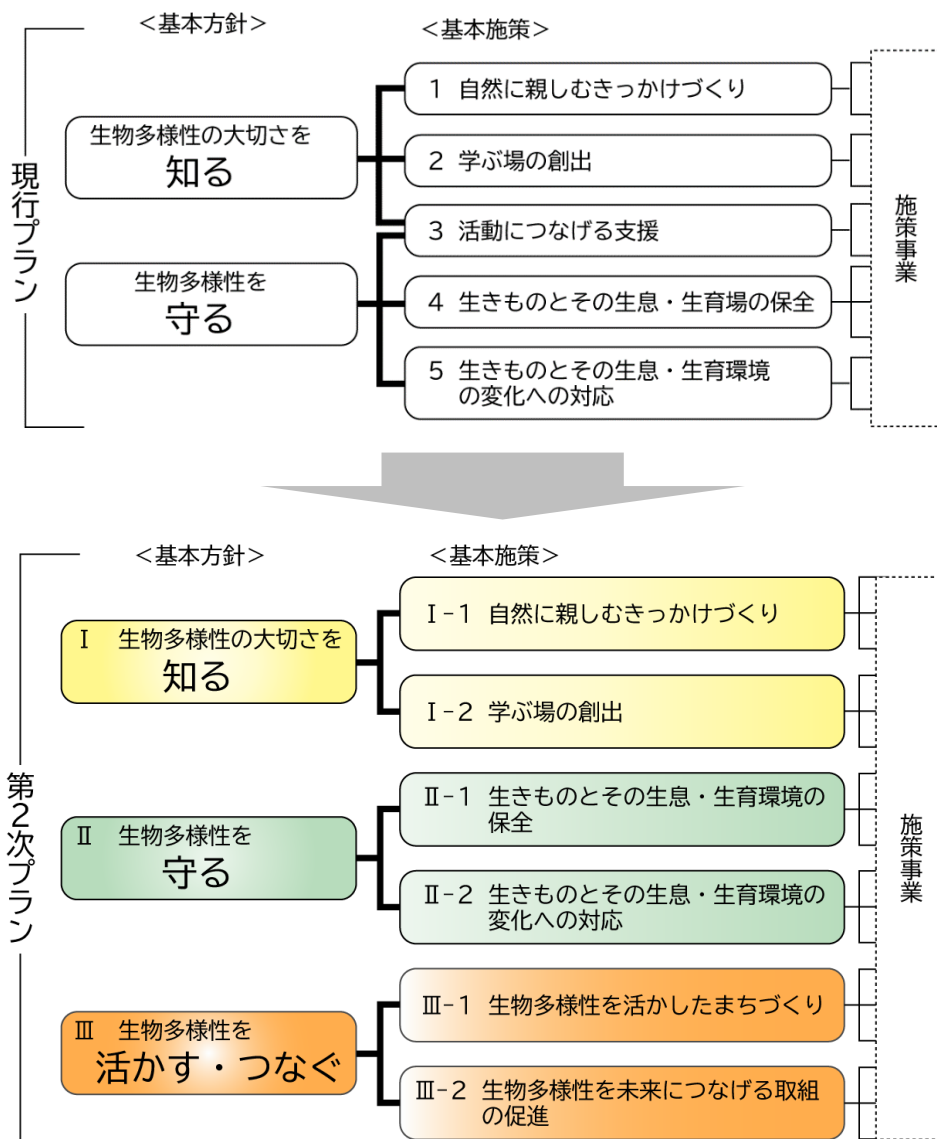


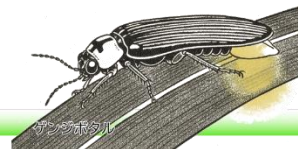
1 施策の体系（基本方針・基本施策）

アキアカネ

現行プランの基本方針「知る」「守る」に包含される形で盛り込まれている「生物多様性を活かし、将来につなぐ」視点については、ネイチャーポジティブへの貢献に向けて、今後特に重要であることから、第2次プランに明確に位置付けるため「生物多様性を活かす・つなぐ」を新たに基本方針に追加し、併せて基本施策を設定しました。

また、基本方針ごとに指標を設け、プランの着実な推進を図ります。





本プランの基本方針や課題を踏まえ、生物多様性に関して「知る」「守る」「活かす・つなぐ」の観点から、市民をはじめとした多様な主体の生物多様性への理解の深まりと積極的な保全活動を促す事業を展開します。これらの事業の推進にあたっては、市民に広く生物多様性保全に関する意識向上を図ることに注力しつつ、さらなる保全活動につなげていきます。

I 生物多様性の大切さを知る

市民一人ひとりが生物多様性についての理解を深め、その恵みに感謝する心を育むとともに、それぞれの主体的な保全活動につながるよう、周知啓発等を推進します。

I-1 自然に親しむきっかけづくり

本市の豊かな自然環境を身近に感じる機会を創出することで、生物多様性の大切さやネイチャーポジティブ実現の必要性に気付くためのきっかけをつくります。

施策事業	事業内容
生物多様性・ネイチャーポジティブに関する周知啓発 <div style="text-align: center;">重点</div>	市有施設や各種イベントなどにおいて実施している自然環境パネル展に加え、SNSや様々な広報媒体を活用し、生物多様性の大切さやネイチャーポジティブ実現の必要性に気付くためのきっかけとなる情報を発信します。 ≪主な取組≫ パネル展, SNS, 大型映像装置, ホームページを活用した周知啓発など
自然観察会等の実施	自然に親しむきっかけづくりとして、身近にある自然を活用した各種イベントにおける体験型プログラムなどの活動を内容の充実を図りながら実施します。 ≪主な取組≫ 身近な自然体験会, 文化の森での自然観察会, 家族でふれあいデイキャンプなど



I-2 学ぶ場の創出

生物多様性の大切さやネイチャーポジティブ実現の必要性について正しく理解し、保全に関する行動の重要性を認識するために、生物多様性について深く知る機会を提供します。

施策事業	事業内容
出前講座の実施	<p>次世代を担う子どもたちをはじめとした幅広い世代に対し、生物多様性に興味を持ち、理解を深めることができるプログラムを用意し、学校や地域等のニーズに応じた出前講座を実施します。</p> <p>《主な取組》 生物多様性に関する出前講座</p>
各主体の行動変容に向けた 情報発信・学習機会の提供 <div style="float: right; border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; color: white; font-weight: bold;">重点</div>	<p>事業者の生物多様性の大切さやネイチャーポジティブ経済への理解を促進するため、「生物多様性民間参画ガイドライン」等の配布や、各事業者に合った取組事例の紹介を実施します。また、みやエコ・アクションポイント制度と連携した情報発信、行動変容に向けた取組を実施します。</p> <p>《主な取組》 「生物多様性民間参画ガイドライン」の配布、 事業者の取組事例紹介、 みやエコ・アクションポイント制度と連携</p>
環境学習センターと連携した環境学習機会の提供	<p>あらゆる世代を対象とし、環境学習の拠点である環境学習センターを中核とした様々な場において多様な主体と連携し、生物多様性の大切さについての理解促進を目的とした講座を実施します。</p> <p>《主な取組》 生物多様性に関連した講座の開催</p>
学校における意識の醸成	<p>未来を担う子どもたちの、生物多様性の大切さについての理解を促進するため、補助教材を作成し、活用します。</p> <p>《主な取組》 「みどりはともだち」の配布、宇都宮学の推進</p>

指標 I

生物多様性の認知度（年）（「生物多様性」の言葉の意味を知っている市民の割合）

42.4% (R7) ⇒ 75.0% (R12)

II 生物多様性を守る

貴重な生物多様性の恵みを引き継ぐため、生きものとその生息・生育環境や、人の生活・自然環境の変化等による影響から生物多様性を保全します。



II-1 生きものとその生息・生育環境の保全

NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)等に合わせた、人と自然が調和したまちづくりに向け、生きものとその生息・生育環境の保全の取組を推進します。

施策事業	事業内容
自然共生サイトの認定に向けた支援等 新規 重点	市内で動植物や自然環境の保全活動を実施している事業者や市民団体等の自然共生サイト認定に向けた支援を行い、生物多様性の保全地域の拡大・創出を図ります。 <<主な取組>> 自然共生サイトの認定に向けた支援等
自然環境保全対策に関するアドバイザー会議の開催	周辺環境に与える影響が大きいと考えられる本市の公共事業を実施するにあたり、自然環境の保護・保全対策について自然環境専門家からアドバイスを受け、自然環境への負荷軽減を図ることを目的とした会議を開催します。 <<主な取組>> 自然環境保全対策に関するアドバイザー会議の開催
自然環境保全地域等の監視活動	栃木県の「自然環境の保全及び緑化に関する条例」で指定される自然環境保全地域等をはじめとした重要な地域について、盗掘等の防止対策として定期的な監視活動を実施します。 <<主な取組>> 自然環境保全地域等の監視活動
多自然川づくりの推進	自然生態系に配慮した川づくりを推進します。 <<主な取組>> 自然環境に配慮した河川の整備、 市民協働による河川愛護の取組の推進
とちぎの元気な森づくり県民税の活用等による里山林整備の推進	里山林の適正な管理を目的として、除伐や藪の刈払い等を実施します。 <<主な取組>> とちぎの元気な森づくり里山林整備事業、 里山林活性化による多面的機能発揮支援事業

施策事業	事業内容
森林環境譲与税の活用等による森林整備の推進	<p>市有林においては「市有林の更新等に関する実施計画」（5か年計画）に基づき皆伐などの適正な森林施業に取り組むとともに、民有林においては森林環境譲与税を活用し、宇都宮市森林組合が実施する下刈や間伐などの整備に要する経費の一部の補助支援や森林経営管理制度の推進に取り組みます。</p> <p>《主な取組》 森林環境譲与税を活用した民有林整備事業、 森林経営計画に基づく市有林整備事業</p>
鳥獣保護管理の推進	<p>イノシシの生息数が拡大していることから、効率的な捕獲等を推進するため、関係機関との連携を強化し、組織的な捕獲体制の整備・強化を図ります。</p> <p>イノシシやハクビシン等による農作物被害の軽減や個体数調整のため、捕獲・防除に係る支援を実施します。</p> <p>《主な取組》 野生鳥獣の捕獲及び被害防止対策の推進</p>
農地・農村環境保全の推進	<p>自然環境に配慮した環境にやさしい農業の取組を進めるとともに、広がりのある田園風景や、生きものの生息・生育環境としての役割にも配慮しながら農業振興地域などの優良農地の適正管理を行います。また、多面的機能支払交付金事業に係る活動により、持続的に農地を保全します。</p> <p>《主な取組》 多面的機能支払交付金を活用した事業、 都市農地の保全・活用</p>
市街地やその周辺のまとまった自然環境の保全	<p>戸祭山緑地やうつのみや文化の森をはじめとした市街地のまとまりのある自然環境を保全します。</p> <p>《主な取組》 長岡樹林地・戸祭山緑地などの保全・活用、 うつのみや文化の森の保全・管理</p>
天然記念物の保全	<p>天然記念物を将来に伝えていくために、所有者や管理者の理解を得ながら、継続的な管理を実施します。</p> <p>《主な取組》 天然記念物の保全に対する支援</p>



II-2 生きものとその生息・生育環境の変化への対応

人の生活や自然環境の変化による生物多様性への影響について把握し保全に取り組むとともに、市民への情報発信や、様々な主体と連携した活動を実施します。

施策事業	事業内容
外来種に関する周知啓発 重点	外来種の持ち込みや野外放逐等の抑制を図るため、市有施設等におけるパネル展示や、侵略的外来種リスト等を活用した、各地域における外来種の影響についての周知啓発を実施します。また、関心を高めるきっかけづくりとして、市民参加型駆除活動を実施します。 <<主な取組>> 外来種に関する周知啓発、 侵略的外来種リストの作成・普及啓発、 市民参加型駆除活動の実施
外来種防除活動の実施・支援 重点	在来種に悪影響を及ぼす外来種の駆除活動を実施するとともに、防除活動などを行う団体の支援を実施します。また、クビアカツヤカミキリをはじめ侵略的外来種について監視等を強化します。 <<主な取組>> 外来種防除活動の実施、 うつのみや生きものつながり活性化事業の推進
自然環境に配慮した適正な開発等の推進 新規 重点	「宇都宮市太陽光発電事業と地域との調和に関する条例」に基づき、事業者による適正な太陽光発電施設設置・維持管理を推進します。 <<主な取組>> 「宇都宮市太陽光発電事業と地域との調和に関する条例」の運用
気候変動への適応策に関する理解促進に向けた情報発信	気候変動の影響に対して、自然や社会のあり方を調整する適応策に関する考え方について、広報媒体による情報提供や講座等による周知啓発を実施します。 <<主な取組>> 気候変動に関する理解と適応策の実践に向けた情報発信

指標II

市内における自然共生サイトの認定箇所数（累計）

0箇所（R6） ⇒ 1箇所以上（R12）

Ⅲ 生物多様性を活かす・つなぐ

これまでの取組で形成された良好な生物多様性を活かしたまちづくりを推進するとともに、保全活動で形成された人の輪や生息・生育環境をつなぎ、さらなる生物多様性の保全・向上を進めます。



Ⅲ-1 生物多様性を活かしたまちづくり

本市の自然環境を把握し、生物多様性の保全やまちづくりに活かすとともに、優れた環境の保全や企業との取組を推進します。

施策事業	事業内容
(再掲) 農地・農村環境保全の推進	<p>自然環境に配慮した環境にやさしい農業の取組を進めるとともに、広がりのある田園風景や、生きものの生息・生育環境としての役割にも配慮しながら農業振興地域などの優良農地の適正管理を行います。また、多面的機能支払交付金事業に係る活動により、持続的に農地を保全します。</p> <p>《主な取組》 多面的機能支払交付金を活用した事業、 都市農地の保全・活用</p>
(再掲) 市街地やその周辺のまとまった自然環境の保全	<p>戸祭山緑地やうつのみや文化の森をはじめとした市街地のまとまりのある自然環境を保全します。</p> <p>《主な取組》 長岡樹林地・戸祭山緑地などの保全・活用、 うつのみや文化の森の保全・管理</p>
ネイチャーポジティブ経営の推進	<p>ネイチャーポジティブ経済の実現に向け、事業者へ情報発信するほか、宇都宮まちづくり貢献企業認証制度と連携し、事業者によるネイチャーポジティブ経営の推進を図ります。</p> <p>《主な取組》 宇都宮まちづくり貢献企業認証制度との連携</p>
自然環境基礎調査の実施・活用	<p>地域特性ごとの自然環境の現況や経年変化等を把握するとともに、貴重な生きものや在来の生態系に影響を及ぼす生きものなどの状況を把握し、生物多様性の保全に向けて活用します。</p> <p>《主な取組》 自然環境基礎調査の実施、 侵略的外来種リストなどの作成・活用</p>

新規

施策事業	事業内容
田んぼまわりの生きもの調査の推進	<p>山や川のような自然とは異なる、田んぼ独特の環境で生息・生育している生きものについて、様々な主体による調査活動を推進します。</p> <p>《主な取組》 多面的機能交付金を活用した田んぼまわりの生き物調査</p>
気候変動による生きものへの影響の調査研究・活用	<p>気候変動が及ぼす本市に生息・生育している生きものへの影響について調査し、把握するとともに自然環境の保全に活用します。</p> <p>《主な取組》 自然環境基礎調査に基づく自然環境の変化の把握・活用、侵略的外来種リストなどの作成・活用</p>



Ⅲ-2 生物多様性を未来につなげる取組の促進

ネイチャーポジティブに向け、多様な主体との連携による環境保全活動の活性化や、自然共生サイト制度の活用により、生物多様性保全の取組を継承していきます。

施策事業	事業内容
自然環境保全団体等への活動支援	<p>豊かな自然環境の保全に関し活動する様々な主体の更なる活動の促進につなげるため、主体間のネットワークを構築するなど、情報の共有化を促進するための支援を実施します。</p> <p>《主な取組》 （公財）グリーントラストうつのみやへの支援、 河川愛護会への支援、 （公財）うつのみや文化創造財団への支援</p>
自然環境保全活動等につながる人材育成の推進	<p>講座の実施やみやエコ・アクションポイント制度との連携等により、地域における自然環境の保全活動を担う人材の育成を図ります。</p> <p>《主な取組》 みやの環境創造提案・実践事業の推進、 緑化ボランティアの養成・活用</p>

施策事業	事業内容
こどもエコクラブの育成	<p>活動支援情報や学習機会の提供等による既存クラブの活動の活性化や、新たなクラブ設立に向けた相談やサークル化を支援することで、こどもエコクラブを通じた環境保全の輪の広がりを推進します。</p> <p>《主な取組》 こどもエコクラブの育成</p>
うつのみや生きものつながり活性化事業の推進 <div style="text-align: right;">重点</div>	<p>地域特性に応じた里地里山の保全活動などに関するノウハウやフィールドを持つ市民団体と環境保全活動を通じた社会貢献に意欲を示す事業者やボランティア団体など多様な主体を結びつけ、生物多様性保全活動の活性化を図ります。</p> <p>《主な取組》 うつのみや生きものつながり活性化事業の推進</p>
(再掲) 自然共生サイトの認定に向けた支援 <div style="text-align: right;">新規 重点</div>	<p>市内で動植物や自然環境の保全活動を実施している事業者や市民団体等の自然共生サイト認定に向けた支援を行い、生物多様性の保全地域の拡大・創出を図ります。</p> <p>《主な取組》 自然共生サイトの認定に向けた支援等</p>

指標Ⅲ

「うつのみや生きものつながり活性化事業」の活動参加者数（年）

146人（R6） ⇒ 300人（R12）